

1 「家庭・地域・学校協議会」の設置と運営

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成

富田地区代表区長(1)
高砂会会長(1)
上野駐在所所長(1)
富田公民館長(1)
民生委員(1)
PTA会長・PTA副会長(3)
学校(校長・教頭・教務主任)(3)

地域コーディネーター
・富田公民館長(里神楽他)
・大野市議会議員(自然薯栽培)

(2) 協議会の内容

開催予定回数 3回
○開催日程 第1回… 6月21日(金)
第2回… 12月19日(木)
第3回… 2月19日(木)

○協議内容
・学校の教育力を高める活動
・家庭の教育力を高める活動
・地域との連携を深め教育力を高めあう活動
・学校評価に関すること

(3) 協議会における成果と課題

協議会では、スクールプランや児童の活動の様子、学校アンケート集計結果などについて説明し、協議会委員の方々に本校の教育活動の理解を深めていただくことができた。委員の方々からは、学校以外での本校児童の様子を伺い、キャリア教育、ICTの活用、挨拶運動、学校便りなどについて評価いただいた。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

- ・地域の自然・くらし・歴史などに興味関心を示し、自ら課題を持ちその解決のための活動に意欲的に取り組めるようにする。
- ・学習を通して、自分の考え方、生き方を確かにすることができるようにする。
- ・地域の一員として、学んだことを地域や社会に生かすことができるようにする。

(2) 活動の実際

① 蕨生里神楽の伝承活動(高学年)

例年1月にクラブを結成し、春の奉納に向けて準備や練習を進めている。今年度4月の奉納は、雨天のため旧蕨生小学校の体育館で行った。大人が神楽を奉納した後、児童による子神楽が奉納された。春日明神や天狗を演じる役者や笛・太鼓の奏者など、一人一人が自分の役割を果たし、立派に披露できた。多くの地域の方からの温かい声かけもあり、児童の充実した表情を見ることができた。

1月には再び4月の奉納に向けた特設クラブを結成した。蕨生地区の方々を講師に招き、細部の動きについて指導していただいている。また、伝統的な神楽の動きの中に、児童自身が考案した動きも織り交ぜ、観衆の方々に喜んでいただける表現に仕上げるために、練習に励んでいる。



(様式3)

②自然薯の栽培と収穫（5年）

児童が、「自然薯ファーム大野」の方とともに自然薯を栽培する活動に取り組んだ。4月の自然薯栽培学習会では自然薯のことを教えていただき、1年間の学習の見通しを持った。5月に種芋を植える作業を体験し、6月には学校で大型プランターに種芋を植え、グリーンカーテン用ネットを設置した。児童たちは水やりや草取りなどを交代で行い、芽や茎の成長を観察した。10月にはむかご採り、11月には自然薯を掘り出す活動を行い、12月にはその自然薯で児童の考案した料理の試食会を行い、作物の育成や収穫の喜びを感じることができた。

③内川水生生物の観察および清掃活動（4年）

富田土地改良組合の協力のもと水土里ネットの職員を講師に招き、内川の水生物調査を行った。川の水量を減らし、イワナやヤマメ、スナヤツメなどを捕獲して観察することができた。児童は、身近な川に数多くの生物が存在することに気づき、富田地区の自然の豊かさを実感し、その環境を守っていくことの大切さを考えることができた。



また、調査の際、様々な水生生物が住む川がゴミで汚れていると感じた児童たちは、9月に内川清掃活動を行った。各々がゴミ袋を持ち、水中のゴミや石に挟まったゴミなど熱心に拾い集めた。回収したゴミは、社会科の学習を生かし、空き缶やペットボトル、粗大ゴミなどに分類し処理をした。

(3) 地域コーディネーターの活動概要

公民館と蕨生区長が連携して、地域の方々に神楽講師を依頼した。神楽クラブの結成から4月の埴安姫神社での奉納までの間、里神楽の役者（天狗、春日明神、多福姫、獅子など）の指導を行った。また、公民館行事の神楽の練習でも指導いただいている。

公民館から富田土地改良連合会を通じて水土里ネットの方々に協力いただき、区内を流れる内川の水生物について事前学習会を実施した。また、水生生物の観察や清掃のため、内川の水量調節などにも協力いただいた。

自然薯ファーム大野の職員が自然薯の特徴や栽培の方法について児童に指導した。また、自然薯畑に出向き、種芋の植え付け、むかごや自然薯の収穫等様々な児童の体験活動の支援を行った。

(4) 特に工夫した事項

- ・蕨生里神楽の伝承活動の一環として取り組む神楽クラブに、地域の講師を招聘し、里神楽にまつわる歴史や文化、役者の動きなどについて学んだ。
- ・自然薯栽培について、事前事後学習を計画的に組み込み、種芋植え、むかごや自然薯収穫をするとともに、プランターでも栽培することでその成長過程を間近で観察できるようにした。
- ・地域内を流れる内川では、水生生物の観察を通して地域の自然に触れ、児童自らがその環境の素晴らしさを実感し、守っていこうとする心が育まれるように取り組んだ。

(5) 成果と課題

クラブを特設して里神楽の伝承活動を進めてきた。児童のクラブ活動への参加意欲は高く、児童が考案した動きを自主的に組入れるようになった。しかし、地域の指導者の高齢化が進んでいることや、神楽を担っている若者が日中仕事のため、クラブの時間に多くの指導者に来校いただくことが難しい。今後の継承の仕方については課題である。

様々な団体の協力のおかげで内川の生物調査や清掃活動ができた。実際に活動することで、富田の自然について理解を深めその良さを実感することができた。今後もこの活動を継続していきたい。